

令和6年度第2回埼玉県公共事業評価監視委員会 会議要旨

日 時	令和7年2月18日（火） 13時15分～16時45分
会 場	県土整備部 部会議室（WEB会議システム併用）
出席委員	村野委員（会長）、八木澤委員、松井委員、盛本委員、渡部委員、澤田委員

1 【事業評価】 事前評価実施事業対応方針（案）に対する意見の 取りまとめ

① 204 大規模特定河川事業 一級河川笹目川

- 委員： 事前質問に係ることとして、補足等あるか。
- 事業課： 笹目川は氾濫解析のモデルが特徴的であり、内外水一体型の分析を行っている。事業実施後も残る浸水については、戸田市が対策を行うことで解消する見込みである。笹目水門のゲート開閉によって浸水被害は異なるのか、という質問については、その通りである。操作規則に基づき荒川の水位を考慮した操作を行うという前提のもとで分析しているため、シミュレーションは正しいものと考えている。交通途絶については浸水深10cm以上の区域を含む道路を示している。
- 委員： 河川事業全般的な意見として、貨幣換算が困難な効果は示しているが、貨幣換算が困難な費用は評価されていない。例えば騒音対策や渋滞対策に係る費用など、事業費・維持管理費に計上できない費用についても示してほしい。
- 事業課： ご指摘を踏まえて今後検討する。

○対応方針（案）について

- 会長： 令和7年度新規事業箇所とするという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。
- 委員： 異議なし。

② 205 広域河川改修事業 一級河川白子川

- 委員： 事前質問に係ることとして、補足等あるか。
- 事業課： 調節池整備と河道の拡幅、どちらかだけでもできるのではないのかというご意見はもっともであるが、住宅密集地を流れるという河川特性を踏まえ、川を広げられる面積や、調節池候補地の土地条件などを勘案して、整備メニューを決めている。
- 委員： 年超過確率が河川によって異なるのはなぜか。
- 事業課： 県内の河川のバランスや過去からの整備状況、流域の特性・資産などを勘案して決めており、計画策定の過程においては、学識から意見を聴取している。なお、再度災害防止の観点などから、計画策定後も内容を見直し、計画変更をすることもある。

○対応方針（案）について

- 会 長： 令和 7 年度新規事業箇所とするという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。
- 委 員： 異議なし。

2 【事業評価】再評価実施事業対応方針（案）に対する意見の 取りまとめ

① 206 街路整備事業（連続立体交差事業） 東武鉄道伊勢崎線・野田線（春日部駅付近）

- 委 員： 「周辺社会環境の変化」において、記載内容がプラス的内容ばかりである。イトーヨーカドー春日部店の撤退など、マイナス的内容についても記載すべきではないか。
- 事業課： 委員のご指摘の通り、マイナス面もあるが、本事業による高架下利用で街づくりなどプラス面が大きいいため、あえてマイナス面は記載していなかった。
- 委 員： マイナス面も踏まえた上で、総合的にプラスと評価していることが、伝わるようにすべきだろう。

○対応方針（案）について

- 会 長： 継続とするという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。
- 委 員： 異議なし。

② 207 総合流域防災事業 一級河川市野川

- 委 員： 説明資料の「総便益と総費用」のグラフの縦軸について、「総便益」と「総費用」の目盛が異なっている。統一した方が比較しやすいのではないか。
- 事業課： 「総便益」と「総費用」の目盛を統一する形に修正させていただく。
- 委 員： 貨幣換算が困難な効果の「電力停止による影響人口の低減」はどのような指標に基づいて算出しているのか。
- 事業課： 各家屋のコンセントの高さを 70 cm と想定し、浸水被害が発生した場合の、浸水深 70 cm 以上の家屋人口を影響人口として算出している。
- 委 員： 昭和 56 年に事業着手し、現在の進捗率が 28.7% となっている。事業完了年度が令和 32 年となっているが、完了できる見込みなのか。
- 事業課： 令和元年東日本台風を受けて、令和 3 年に計画を変更しているため、事業完了年度が令和 32 年になっている。現在は、旧諏訪堰の撤去に時間を要しているが、撤去工事が完了すれば改修のスピードの加速が見込まれるため、事業完了に向けて事業スピードの加速を図っていきたい。

○対応方針（案）について

- 会 長： 継続とするという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。
- 委 員： 異議なし。

③ 208 広域河川改修事業 一級河川和田吉野川

- 委 員： 説明資料の「総合評価」の、B／C 86. 53の記載方法は工夫できないか。次回以降見直しを検討できないか。
- 事業課： 次回以降見直しを検討したい。

○対応方針（案）について

- 会 長： 継続とするという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。
- 委 員： 異議なし。

④ 209 総合流域防災事業 一級河川備前渠川

- 委 員： 農地・農業施設の被害額の算出について、前回評価時から被害額が大きく増加しているが、前回評価が過小評価だったのか。
- 事業課： 前回の評価が過小なのではなく、マニュアルが見直しされ、それに基づき算出している。
- 委 員： 水田であったものが畑地化しており、被害額が大きくなっているのか。
- 事業課： 実際に農業が転換している可能性はあるが、今回の事業評価において土地利用の状況の詳細な確認までは行っておらず平均的な数値から被害額を算出している。

○対応方針（案）について

- 会 長： 継続とするという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。
- 委 員： 異議なし。

⑤ 210 総合流域防災事業 一級河川女堀川

- 委 員： メッシュを細かくすることで、なぜ浸水面積が広がるのか。
- 事業課： 氾濫解析を行うメッシュの大きさは変えていない。地盤高について国土地理院の最新データ（5mメッシュ）を用いており、この結果、地盤高が変わったためと考えられる。
- 委 員： 今回評価を行っている浸水とは、土地の浸水あるいは建物の浸水のどちらを指しているのか。
- 事業課： 土地がどの程度の浸水深で浸水するかシミュレーションを行い、この結果と建物に関するデータを重ね合わせることで床上浸水件数等の被害を確認し、被害額を算出している。
- 委 員： 元から土地が低く、浸水が想定される地域では宅地を嵩上げすることが一般的だが、そのような嵩上げを見込むか否かで算出結果は大きく変わってくるのではないか。
- 事業課： 嵩上げ等の対策を行っているなどの個別の調査まで行っておらず、公表されているデータから被害額を算出している。

委員：メッシュの見直しに伴い、堤防高さの地盤高が低くなることで、外水の量が増えていないか確認しているか。

事業課：堤防などの河川管理施設は、最新の情報から計算している。女堀川では降雨波形を変更はしていないので、外水は増加していない。

委員：シミュレーションにおいて、破堤した場合は堤防の上端で溢れるのか。

事業課：堤防の天端ではなく、堤防の高さより低い設計強度となる計画高水位まで水位が上昇したときに破堤する設定となっている。

○対応方針（案）について

会長：継続とするという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。

委員：異議なし。

⑥ 2 1 1 広域河川改修事業 一級河川芝川

委員：地盤高データの更新を行ったとあるが、地形は前回とほぼ同じ結果であったということで良いか。

事業課：そのとおりである。

○対応方針（案）について

会長：継続とするという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。

委員：異議なし。

⑦ 2 1 2 広域河川改修事業 一級河川鴻沼川

委員からの質問・意見なし

○対応方針（案）について

会長：継続とするという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。

委員：異議なし。

⑧ 2 1 3 総合流域防災事業 一級河川新河岸川

委員：最下流端の未整備箇所約2.6kmについて、用地交渉の難航だけが未整備の理由なのか。

事業課：用地交渉に難航している箇所が点在しているためである。移転先の調整に時間を要しているが、調整が完了する見込みが立っており、近いうちに事業着手できる予定である。

委員：事業完了まで10年程度を要するということだが、用地交渉相手には10年という期間を示しているのか。

事業課：上流端の未整備区間も含めて10年を想定している。特定の交渉相手との調整に10年を要するという考えではない。

委員： 事業始期との比較については違和感があるという事前質問があったが、河川整備計画の策定期限にするなど、これから検討していくということで良いか。

事業課： 他の河川にも関わる話なので、今後検討させて頂きたい。

○対応方針（案）について

会長： 継続とするという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。

委員： 異議なし。

⑨ 214 総合流域防災事業 一級河川不老川

委員からの質問・意見なし

○対応方針（案）について

会長： 継続とするという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。

委員： 異議なし。

⑩ 215 大規模特定砂防等事業 下モ

委員からの質問・意見なし

○対応方針（案）について

会長： 継続とするという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。

委員： 異議なし。

⑪ 216 大規模特定砂防等事業 金崎

委員からの質問・意見なし

○対応方針（案）について

会長： 継続とするという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。

委員： 異議なし。

⑫ 217 大規模特定砂防等事業 上の山

委員： 事業番号215～220の砂防等事業に共通することだが、過疎化が進行しており、住民がいなくなる可能性もある地域に対し、どのように砂防事業を進めていくのか。

事業課： 事業を行わないと土砂災害で集落がなくなる恐れもある。このような地域のあり方については、地元市町村で議論するとともにそれを踏まえ砂防事業を行っていくべきと考えている。

○対応方針（案）について

会 長： 継続とするという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。

委 員： 異議なし。

⑬ 2 1 8 大規模特定砂防等事業 桜ヶ谷

委員からの質問・意見なし

○対応方針（案）について

会 長： 継続とするという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。

委 員： 異議なし。

⑭ 2 1 9 事業間連携砂防等事業 摩利支天沢

委 員： 総合評価のコメントで「上回っている」「高い」と混在しているが、問題ないのか。

事業課： 表現を統一させていただく。

○対応方針（案）について

会 長： 継続とするという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。

委 員： 異議なし。

⑮ 2 2 0 事業間連携砂防等事業 宿本

委 員： 年平均被害軽減期待額の算出方法の模式図で、人命被害軽減便益が分かりにくいように感じる。

事業課： 色や凡例など修正させていただく。2 1 9 の摩利支天沢についても同様に模式図を修正させていただく。

○対応方針（案）について

会 長： 継続とするという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。

委 員： 異議なし。